

市区町村名	大阪府 <small>おおさかし</small> 大阪市	担当部署	中央図書館利用サービス担当
		電話番号	06-6539-3326

1 取組事例名

図書館の地域資料のオープンデータ化で大阪の魅力を発信（行政事務の効率化）

2 取組期間

平成 29（2017）年 3 月～（継続中）

3 取組概要

- ・利用者が大阪市立図書館所蔵資料の画像の二次利用をするには、著作権者の確認など煩瑣な手続きが必要であり、申請に対する図書館側の審査、許諾の事務にも手間と労力が掛かっていた。
- ・利用者の利便性の向上、行政事務の効率化を目指して、大阪市立図書館デジタルアーカイブで公開しているコンテンツの中から著作権が消滅した地域資料画像をオープンデータとして提供開始した（平成 29 年 3 月）。
- ・加工も商用利用も許容する CC（クリエイティブ・コモンズ）ライセンスで提供することにより、大阪の魅力を発信し、地域経済に資することも目指した。

4 背景・目的

- ・旧システムである「大阪市立図書館イメージ情報データベース」は平成 8 年に中央図書館内の専用端末にて公開開始し、13 年にはインターネットでの公開を行った。26 年 1 月の図書館システムリプレイス時に旧システムを「大阪市立図書館デジタルアーカイブ」にリニューアルし、画像データの検索機能の豊富化や操作性・検索性の向上により、関連ホームページへのアクセス数が増え、画像の二次利用申請が増加してきており、事務量増加への対応が必要であった。
- ・本市方針として「大阪市 ICT 戦略」（平成 28 年 3 月策定）等で「積極的なデータ活用の推進（オープンデータ・ビッグデータ）」が打ち出された。

・大阪市立図書館デジタルアーカイブ画像データのオープンデータ化

大阪市立図書館デジタルアーカイブとは

- ・大阪市立中央図書館が所蔵している古文書や写真、絵はがきなどの貴重資料の画像をインターネットで閲覧できるサービス



デジタルアーカイブとは、大阪市立中央図書館が所蔵している古文書や古い写真、絵葉書、地図などの貴重資料をインターネット上からみられるサービス。

デジタルアーカイブのコンテンツ

- ・ **古文書**
大阪関係などの古文書、写真、絵はがき、引札、芝居番付、間重富・間家関係文書、百人一首文庫、浄瑠璃本、水帳、家分け文書
- ・ **地図** **著作権の切れた資料をオープンデータ化**
地形図、住宅地図、その他 **約 6,000点、13万枚 (開始当初)**

2017年3月2日
提供開始



「摂津名所図会」(大阪関係などの古文書)



「大阪 御家新全景」(絵はがき)



「新成往古図 (大阪古地図集成 第1回)」(地図)



「文書館人形浄瑠璃十一月再行」(芝居番付)



「呉服高」(引札)

平成 29 (2017) 年 3 月、デジタルアーカイブのコンテンツのうち、大阪関係などの古文書、写真、絵はがき、引札、芝居番付、間重富・間家関係文書、百人一首文庫、浄瑠璃本などの著作権が消滅した資料の画像をオープンデータとして、公開。

デジタルアーカイブの機能

大阪市立図書館デジタルアーカイブ
OSAKA MUNICIPAL LIBRARY DIGITAL ARCHIVES

図書館 ホームページへ

戻る Back

簡易検索 | Simple Search

検索 | Search

クリア Clear

フリーワード | Keyword

出版年 (西暦) | Publication Year

出版年 (和暦)

画像情報 | Image Information

すべて (館内公開画像を含む) | All

オープンデータのみ | Open Data

文書種別

写真・絵はがき

写真

古文書など

大坂関係などの文書

引札

茶分け文書

平野壺茶文書

小坂合村文書

小林家文書

寺島家文書

芝居番付

浄瑠璃本

浄瑠璃六通文庫

浄瑠璃道楽文庫

竹本弥太夫遺文庫

野澤高兵衛遺文庫

豊沢松太郎旧蔵書

四代目浄瑠璃六旧蔵書

水碓

陸奥宮・陸奥関係文書

百人一首文庫

その他

地図

地形図

住宅地図

その他

表示件数 | Displayed Results

10件 50件 100件

ソート指定 | Sort Setting

昇順 | Ascending Order

検索 | Search

クリア Clear

↑

copyright © OSAKA MUNICIPAL LIBRARY. All rights reserved.

デジタルアーカイブの「簡易検索」の画面。令和2年1月の機種更新時にオープンデータのみを指定しての検索を可能とした。

オープンデータのみ | Open Data

大阪市立図書館デジタルアーカイブ
OSAKA MUNICIPAL LIBRARY DIGITAL ARCHIVES

図書館 ホームページへ

戻る Back

資料詳細 | Detail

蔵書新編番船川口出帆之図

関連するWeb-ギャラリーを見る

所蔵を見る

項目 Item	内容 Content
管理番号 Control Number	00001001
書誌ID Bibliography ID	0013398032
書名 1 Title1	蔵書新編番船川口出帆之図
著者 1 Author1	倉村幸 芳豊/回
出版者 1 Publisher1	[倉村幸芳豊]
刊年/作成年 Publication Year	[185-]
注記/注釈 Annotation	「なにわの海の時空館」旧蔵資料
形態	3枚; 36×72cm
文書種別	x: 大坂関係などの文書
申請不要・二次利用可	CC0 (CC0 1.0 全世界パブリック・ドメイン提供)
URL	http://image.oma.city.osaka.lg.jp/archive/detail?do=ancient&key=00001001 固定URLについて、詳しくは「デジタルアーカイブのURLについて」をご覧ください。

二次利用について

関連画像一覧 | Images

画像管理番号 194015

クリックすると詳細へ

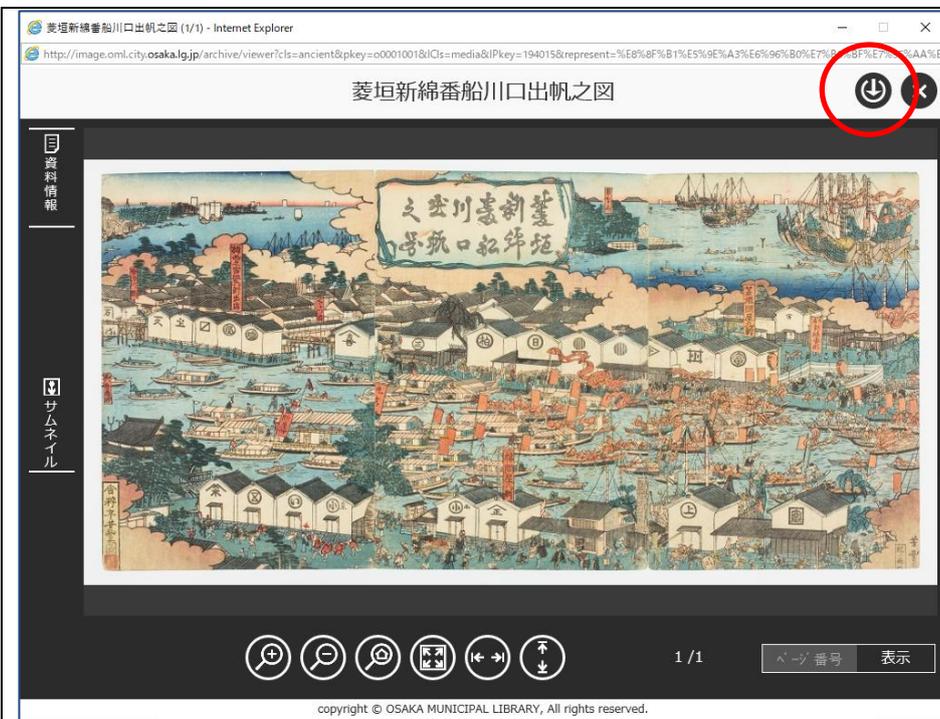
↑

copyright © OSAKA MUNICIPAL LIBRARY. All rights reserved.

「資料詳細」の画面にある「CC0」の表示は、自由に利用・改変でき、商用利用も可能な画像であることを示す。

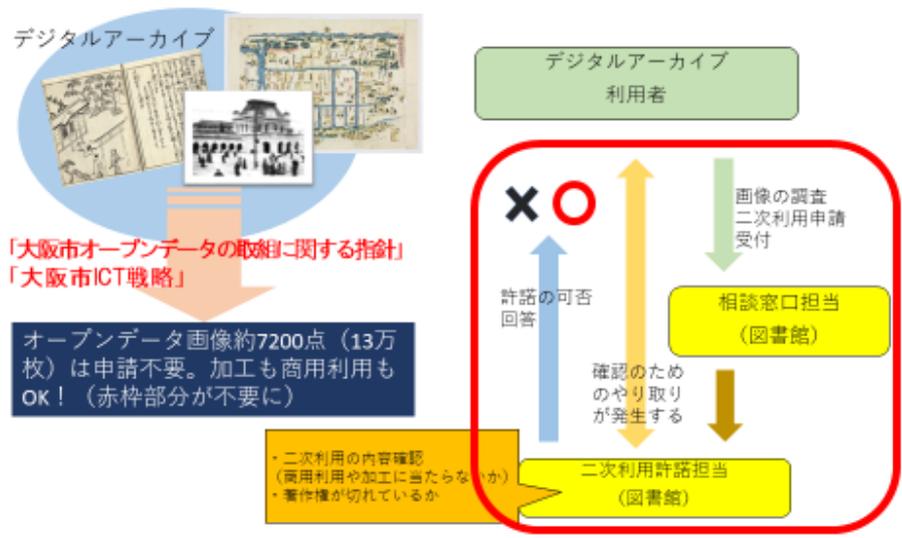
申請不要・二次利用可

CC0 (CC0 1.0 全世界パブリック・ドメイン提供)



画像の詳細画面にある
 をクリックすることで、容易に画像データを端末にダウンロードが可能。

オープンデータは 二次利用申請の手続きが不要に！



オープンデータ化により二次利用の申請手続き（赤枠内）、が不要となり、利用者の利便性が向上。申請の受付、審査事務も不要となり、**行政事務の効率化**が図れた。

新聞五大紙・雑誌等で紹介され、活用事例も！



レトルトカレーパッケージ



区役所の海外からの視察団へのお土産



名刺に活用



ラッピングバス



うちわ（イベント参加者に）

市長会見など積極的な広報を実施。マスコミに取り上げられることにより、オープンデータ活用が進み、活用事例も増加した。

継続した周知・広報

- オープンデータ関連の展示、画像の人気投票
- 画像加工講座の実施、画像加工コンテスト
- ツイッター「今日一枚」



画像人気コンテスト1位画像



加工した画像のコンテスト



画像活用講座

館の催しや他団体との連携により、継続した周知・広報に努めている。

「OML48チームHIKIFUDA(ひきふだ)選抜総選挙」



話題になった催しの一つ、「OML48 チームHIKIFUDA(ひきふだ)選抜総選挙」

明治から大正初期にかけてのチラシ広告「引札」から、お気に入りのキャラクターに投票していただき、「初代センター」を決めるイベント。投票総数は1,139票にのぼった。

6 特徴（独自性・新規性・工夫した点）

- ・デジタルアーカイブ画像のオープンデータ化は公共図書館では初めての試みである。
- ・行政事務の効率化がスタートだったが、オープンデータが市民に広く使われてこそ、意味がある（「使われてなんぼ」）との考えから、事業実施を市長会見で発表するなど、積極的な広報・市民周知に努め、新聞五大紙等に記事が掲載された。
- ・オープンデータ化当初は、二次利用の条件をクリエイティブ・コモンズ・ライセンス「CC-BY4.0」で提供していたが、令和元（2019）年10月より、「CC0」に変更した。これにより、出典表示を必須要件とせず、自由な利用が可能となった。
- ・展示や講座の開催、イベント等の開催によりオープンデータ開始後も積極的に広報活動を行った。ツイッターを活用した取組やウィキペディアタウン等の市民参加型のイベントの開催など、様々なレイヤーに興味を持ってもらえるように工夫をしている。「Wikipediaで『浪花百景』を世界に紹介しよう！」のイベントは、図書館ホームページやツイッターで呼び掛けたところ、イベントに興味を持ったシビックテックのグループが、関連イベントとして独自に集合型の編集イベントを行うなど、オープンデータ活用にふさわしい取組となった。
- ・令和2（2020）年8月現在、お気に入りの画像を探してツイッターで投稿する「OML48 チームHIKIFUDA 第2期生を募集」イベントを実施、秋には第2回 OML48 チームHIKIFUDA（ひきふだ）選抜総選挙」を実施予定である。

Twitter運動企画

キラリと光る逸材、
あなたが探してみませんか？

OML48チームHIKIFUDA

だい き せい ぼ しゅう

第2期生募集

大阪市立図書館デジタルアーカイブオープンデータ

「引札（ひきふだ）」から
新しいキャラクターを探してみませんか？
素敵なニックネームとキャッチコピーを付けて
ツイッターでお知らせください。

審査を行い、

「第2回OML48チームHIKIFUDA選抜総選挙」

に登場するキャラクターを選考します。

第1回総選挙 第1位
ちゃりんこ兄弟

どこまでも満足で駆け抜ける、仲よし兄弟。
丸い体は、運動じゃなくて、筋肉なんですよ。
自転車プールの時や、明治から走り続けてきた
ちゃりんこ兄弟がは目を輝かせる日も近いのか。
「やっと時代が俺たちに追いついてきたな」

募集期間：令和2（2020）年8月3日（月）～9月30日（水）



次世代エース候補
ちゅうわけやな！
ハッシュタグ
#OML48ひきふだ
付けて呟いてな

問い合わせ：
大阪市立中央図書館 06-6539-3302
<https://www.oml.city.osaka.lg.jp/>

応募方法：

お気に入りのキャラクターの画像をダウンロードし、お持ちのツイッターアカウントで、キャラクターのニックネームとキャッチコピー、画像を投稿してください。ハッシュタグは「#OML48ひきふだ」をつけてください。

- となたでも応募できます。
- 個人や団体を排除中傷するような投稿はおやめください。
- 審査は大阪市立図書館職員が行います。
- 選考結果は、11月実施予定の「第2回OML48チームHIKIFUDA選抜総選挙」の時に発表します。

画像の探しかたは裏面をご覧ください

図書館からのお知らせ

ニュース/イベント >> 記事詳細 < 前の記事へ 次の記事へ >

2019/01/18 | Wikipediaで、『浪花百景』を世界に紹介しよう! | by: 中央図書館

Wikipediaで、『浪花百景』を世界に紹介しよう!

大阪市立図書館では、地域資料を中心として著作権が切れた所蔵資料のデジタルアーカイブ画像の一部を、オープンデータとして提供を開始しています。オープンデータの中から、『浪花百景』の画像102点（目次を含む）をWikimedia Commons（ウィキメディア・コモンズ）にアップロードしました。これらの画像を、関連するウィキペディアの記事に情報として掲載していませんか？（右の画像は「縁城の馬場（浪花百景）」）

【期間】平成31（2019）年1月18日（金）から2月28日（木）まで
※期間中いつでも参加可能なオンラインイベントです。集合型のイベントではありません。

【内容】ご自宅のパソコンなどから、ウィキメディア・コモンズにアップロードしている『浪花百景』の画像を、関連するウィキペディア記事に反映してください。記事に反映できましたら、ツイッターアカウントをお持ちの方は、ぜひ「大阪オープンデータ」のハッシュタグをつけてお知らせください。

ウィキペディアのアカウント作成、編集方法はウィキペディア日本語版のヘルプページをご覧ください。
参考：ウィキペディア日本語版のヘルプページ

ウィキメディア・コモンズにアップロードしている画像は、Wikimedia Commons（ウィキメディア・コモンズ）のページで、『浪花百景』*大阪市立図書館のこのキーワードで検索すると、絞り込むことができます。

ウィキペディア 安居神社

安居神社 (作新内んじ) は、大阪府大阪市天王寺区にある神社。祭神天照国照、菅原経世と申す。

歴史

経世は本朝(唐)であるが、神社は少名彦名所が築かれており、天武5年(647)から菅原経世が築られるようになったと伝えている。菅原経世が奉祀に定められたと、経世の功績にちなんで少名彦名所が少名彦名所(少名彦名所)と改称された。少名彦名所(少名彦名所)では、神社は菅原経世でなく少名彦名所が祀られ、経世が祀られたから(少名彦)ととなり、経世に天孫降臨の神戸があることから(少名)とされたといわれるが、経世が祀られたと伝えている。少名彦名所(少名彦名所)は、境内には少名彦名所があり、祭神もあって見聞らしく、祭神も少名彦名所といわれる。経世名所(少名彦名所)でも少名彦名所として祀られている。

大正の創業家の下村屋右衛門正徳がよく祀られているので大正天神と称されることがある[1]。

大阪市立図書館デジタルアーカイブ「Wikipediaで、『浪花百景』を世界に紹介しよう!」オンラインイベント記念! オフライン編集イベントを行いました。

2019年1月21日

20190120
大阪市立図書館デジタルアーカイブ「Wikipediaで、『浪花百景』を世界に紹介しよう!」オンラインイベント記念! オフライン編集イベントを行いました。



大阪市立図書館デジタルアーカイブ
浪花百景の画像でウィキメディアコモンズにあげた画像を
関連するウィキペディアの記事に貼っていくオフライン編集イベントを開催しました。

浪花百景

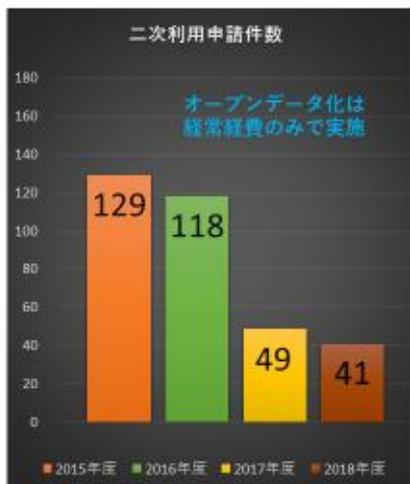
浪花百景 (なななひゃくけい) は、江戸時代後期の浮世草子『浪花百景』の挿絵102点（目次を含む）をWikimedia Commons（ウィキメディア・コモンズ）にアップロードしたデジタルアーカイブ画像の総称である。

浪花百景 (なななひゃくけい) は、江戸時代後期の浮世草子『浪花百景』の挿絵102点（目次を含む）をWikimedia Commons（ウィキメディア・コモンズ）にアップロードしたデジタルアーカイブ画像の総称である。

・また、民間企業とデジタルアーカイブオープンデータの公開及び利活用推進に関する連携協定を締結し、講座やイベントを実施している。

二次利用申請件数とアクセス件数の推移

2015年度の**68%減**



デジタルアーカイブのアクセス件数は**2.9倍**



オープンデータ化により、二次利用の申請が68%減少した。一方、デジタルアーカイブのアクセス件数は2.9倍まで増加した。申請手続きが不要のため、実数は把握できないが、アクセス件数の増からオープンデータの活用が広がっていると考えられる。

・取組に要した費用については、オープンデータ化にかかる予算措置はしていない。デジタルアーカイブは図書館情報ネットワークシステムの一部として、一括調達しているため、個別経費の算出はできない。

うれしい外部評価！

VLED2018年度勝手表彰貢献賞（2019年3月）

- 早くから古文書や古い画像作品のオープンデータ化と活用プロモーションを行ってきた。図書館が地域のオープンデータ活用の拠点となることを示している。
- 商品パッケージへの採用やグッズ製作などの二次利用が実際に進められていることを高く評価する。



総務省ICT地域活性化大賞2019優秀賞

(2019年3月)

- 守りの姿勢の図書館が多いなか、これからの図書館モデルとなるように、との期待も込めて



取組が評価され、一般社団法人オープン&ビッグデータ活用・地方創生推進機構（VLED）および総務省より、賞をいただいた。

8 取組を進めていく中での課題・問題点（苦労した点）

・デジタルアーカイブ画像のオープンデータ化は公共図書館では初めての試みであり、先行事例がないため、著作権法上の問題がないかどうかの確認や、また、個別のデータに関して著作権が消滅していることの再確認、メタデータ（画像の内容に関するデータ）の点検など、実施には慎重を期した。

・二次利用申請が不要なオープンデータであるがゆえに、どれだけ活用されているかが評価しづらい。そのため、図書館ホームページ内に「デジタルアーカイブオープンデータ利活用事例の紹介」ページを設置し、オープンデータの活用事例を募り、許可を得た事例については図書館ホームページで紹介することとしている。

以下の事例は、障がい者の就労支援を行う NPO が活用したもので、紙製ファイルを作成し、大阪市歴史博物館等で販売している。

浪花百景和紙ファイル

★地球環境に優しい伊予和紙（現在和紙）を使用しています。



【浪花百景和紙ファイル】

～浮世絵・浪花百景と現在和紙のコラボ～

大阪市立中央図書館のクリエイティブ・commons・ライセンスコンテンツである浪花百景（浮世絵）を、和紙生産で有名な愛媛県伊予で生産された伊予和紙ファイルに印刷しました。

【浪花百景】

幕末の大坂で活躍した3名の浮世絵師（歌川国貞、中井芳庵、森芳雪）の合作による浮世絵版画で、当時の大坂の名所風物100景が描かれています。



【地球環境に優しい和紙ファイルを使用】

使用の和紙ファイルは、原料に『竹の間伐材』を配合し、地球環境保全に配慮する『非木材グリーンマーク認定』を取得しています。



【企画・制作・販売元】

NPO 法人 精神障害者支援の会ヒット
就労継続支援B型事業所 タスト



〒537-0024 大阪府大阪市東成区東小橋3丁目1-15 1KBビル4階 問合せ先：06-6975-8060

9 今後の予定・構想

今後に向けて、これからの課題としては、

- ・協力者や民間と繋がり、オープンデータ画像の今後の活用の可能性を探る
- ・子どもが地域の歴史や名所に興味を持てるような事業を企画
- ・国立国会図書館サーチとの連携、高精細画像の取り扱い等の検討
- ・活用のためのキーワードや地名などメタデータの豊富化

10 他団体へのアドバイス

- ・行政事務の効率化からスタートしたが、複数の担当課で連携し、行政資産を広く活用してもらえる取組につながった。多様な視点で取り組むことで、一石二鳥の効果が得られます。
- ・自治体の運用しているデジタルアーカイブが、利用者による画像データのダウンロードを許容するシステムであることが前提となります。
- ・単にオープンデータ化するだけでは利用は望めません。市民に広く活用していただくための仕組みづくりが必要となります。

11 取組について記載したホームページ

- https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?key=johsaozpv-510#_510 2017/03/02 デジタルアーカイブのオープンデータ化開始
- https://www.oml.city.osaka.lg.jp/index.php?key=jojeh77qp-510#_510 2017/02/23 図書館所蔵の昔の写真・絵はがき等画像をオープンデータ化
- https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=1633 オープンデータについて
- https://www.oml.city.osaka.lg.jp/?page_id=1635 デジタルアーカイブについて